

平成 29 年度 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会 第 1 回会議 議事概要

- 開催日時：2017 年（平成 29 年）6 月 28 日（水）午前 10 時～11 時 30 分
- 開催場所：市役所会議室
- 出席委員：東海邦彦委員長、富岡幸一郎副委員長、太下義之委員
- 欠席委員：山崎稔恵委員
- 事務局：文化スポーツ課 阿万野課長、黒羽係長、鬼原主事、森主事補
- 会議の公開・非公開：公開
- 傍聴者数：1 名
- 議題：1 平成 28 年度事業に関する評価の対象、進め方について
2 平成 29 年度事業について
3 その他

■資料：

【事前送付資料】

- 資料 1 平成 28 年度第 2 回会議議事録（案）
- 資料 2 文化振興基本計画 平成 28 年度進捗状況（評価シート、個別シート）
- 資料 3 平成 29 年度事業について

- 参考資料 1 逗子文化プラザホール指定管理者中間評価に関する報告書
- 参考資料 2 平成 28 年度 逗子文化プラザホール指定管理者事業報告書（指定管理者）
- 参考資料 3 逗子文化プラザホール指定管理に関する基本協定書
（自主文化事業に関する部分の抜粋）
- 参考資料 4 逗子アートフェスティバル 2016 報告書
- 参考資料 5 「（仮称）逗子アーカイブス」の方向性についての意見
- 参考資料 6 第 1 回トモイクフェスティバル 報告書

【当日配付資料】

次第

名簿

- 参考資料 7 平成 28 年度 利用者懇談会報告（指定管理者）
 - 参考資料 8 平成 28 年度 逗子文化プラザホール非利用者アンケート報告（指定管理者）
 - 参考資料 9 平成 28 年度 自主文化事業要覧（指定管理者）
- 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会規則

1 開 会

定数の確認

資料の確認

〈委員長〉

議事に入る前に、平成 28 年度第 2 回会議の議事録（案）について、資料 1 のとおり内容を確定してもよろしいか。

◇◇◇異議なし◇◇◇

この内容で確定とする。

2 議 事

(1) 平成 28 年度事業に関する評価の対象、進め方について

〈委員長〉

議題 1 「平成 28 年度事業に関する評価の対象、進め方について」について、事務局から説明をお願いする。

〈事務局〉

評価シートについて、資料 2 をご覧ください。

昨年度、27 年度の評価の際に、同じ様式で 27 年度からの 4 年間は評価を行うこととしたので、28 年度についても、同じ様式を使用した。資料 2 は、その様式に所管課の自己評価を書き加えたものである。

(資料 2 文化プラザホール管理運営事業 評価シート及び個別シート、自主文化事業個別シートについて説明)

〈委員長〉

意見、質問等あるか。

〈副委員長〉

B 評価の上の A 評価は、どのような内容になるのか。

〈事務局〉

「予定以上の進捗」の場合は、A 評価となる。

〈太下委員〉

障害者差別解消法に対応するための研修に参加したということだが、あくまで対応に向けた第一歩なので、実際の事業に展開してほしい。今年度はそのように取り組んでいただきたい。全ての障がいにすぐ対応していくのは難しいが、どの範囲からだったら対応を始められるか検討したうえで、地道な取組みに臨んでいただきたい。

〈委員長〉

参考資料 7 の利用者懇談会、参考資料 8 の非利用者アンケートを実施した努力は認めたい。参考資料 7 について、対象とした利用者はどのように選んだのか。

〈事務局〉

懇談会は毎年度行われているもので、今回はこの 6 団体に参加していただいたとのことだ。

〈委員長〉

参考資料7の4頁に、ホール催事に関するJR逗子駅前告知板の設置希望があったが、このようなことは指定管理者だけではできないことなので、市所管課として設置に向けて努力してほしい。より利用者が広がると思う。また、これはホール開設当初からの課題でもあった。

参考資料8について、ホールの存在を知らない、という方が市内在住者に多いという点からも、JR逗子駅前告知板はあったほうがよい。

参考資料9について、なぎさホールの利用率が69.9%とあるが、27年度に比べて下がっているか。

〈事務局〉

利用日数、利用人数、利用率全て上がっている。

〈委員長〉

自主文化事業について、かなり入場率の低い事業が見受けられる。例えば、参考資料9の17頁にある「津軽三味線ライブ 柴田三兄弟 ～笑顔で会いましょう～vol.2」、同7頁の「みんなで踊ろう！なぎさのたいよう～逗子まちDancing～with コンドルズ」など。入場率の低い事業についての分析と対応を考えてほしい。実験的な事業については意味があるが、ここまで低いには問題がある。特にダンスについては、若年層に人気があり、企画内容を見る限り、たくさんの応募者があっても良かったはずだ。にもかかわらずこの結果は、事前の周知や準備の不足が原因だったのでは、と思う。入場率の低い事業の分析と対応について検討願いたい。

〈事務局〉

モニタリング及び年度報告の際、確認したところ、周知期間が少なかったという報告をホールから受けている。

〈委員長〉

子どもフェスティバルがトモイクフェスティバルに変わった経緯と今後の方向性について教えていただきたい。子どもフェスティバルはホールオープニング以来の継続事業であったが、それが市共催のトモイクフェスティバルに変わったのは何故か。

〈事務局〉

子どもフェスティバルはホール開設時からの「子ども向け」の事業であったが、トモイクフェスティバルは「子どもから高齢者まで」全ての世代が共に学ぶ、ということをコンセプトにしている。27年度から、市民交流センターは指定管理者による管理運営となっているが、28年度の交流センター自主事業として、市の基幹計画「共育プラン」を受けて、交流センターが拠点となって、このフェスティバルを運営するということになり、交流センター指定管理者が主体になって実施した。但し、ホールでのプログラムもあったので、ホールは共催になり、交流センターとのコラボレーションした形になっている。今後も、センター指定管理者とホール指定管理者と一緒に、複合施設としての文化プラザ全体での取り組みとして継続していく。

〈委員長〉

トモイクフェスティバルでは、市民参加の度合いはどうなっているか。

〈事務局〉

以前の、子どもフェスティバル実行委員会のメンバーはそのまま引き継いで参加していただいている。加えて、新たなメンバーも入ってきているようだ。

昨年度は県自治基盤整備補助金を得たため、規模を大きくして開催した。今年度は、補助金

は無いが、規模を縮小しても継続する予定である。

子どもフェスティバルの時と比べて参加者が少ないが、2日目が荒天だったため、屋外プログラムがほとんどできなかったため、参加者が少なかったということだ。

〈委員長〉

指定管理制度について、28年度は折り返し地点で、参考資料1のとおり中間評価を実施したとのことだが、第二期の公募のスケジュールはどうなっているか。

〈事務局〉

現在3者の応募申出がある。7月11日(火)に第2回会議で書類審査を行い、7月18日(火)に公開ヒアリング及び審議を経て、指定管理者候補を決定し答申する予定である。

〈委員長〉

公開ヒアリングの告知は、どのように行うのか。

〈事務局〉

市ホームページに行う予定である。

〈委員長〉

ホール利用者に関心が高いことなので、ホール内に実施予定について掲出する等してほしい。

〈副委員長〉

中間評価を受けた現指定管理者は、第二期選定に有利なのではないか。

〈事務局〉

中間評価の報告書は、逗子文化プラザホール指定管理者候補選定委員会の議事録とともに市ホームページに公開している。

〈副委員長〉

前回と今回で、選定委員会の委員は変わっているか。

〈事務局〉

委員長をはじめ、4名中3名が変わっている。

〈事務局〉

(資料2 文化活動振興事業 評価シート、逗子アートフェスティバルの継続 個別シート、アウトリーチ活動の充実 個別シートについて説明)

〈委員長〉

意見、質問等はあるか。

〈太下委員〉

逗子アートフェスティバルについて、29年度がトリエンナーレとのことだが、トリエンナーレ的なものは全国的に増えており、なぜあえて逗子がやるのか、どのような方向性をもって行うのかきちんと示した方が良い。一般的にトリエンナーレの多くは地域振興や観光振興に寄与するものとして機能しているようだが、そういうものはかなりの予算がかかる。そういうものをするのか、そうでなければ、市民型というか、あまり成功例はないと思うが、内容面でのハードルは高くなるが違う形のトリエンナーレとするのか。その部分を明確にしないと、中途半端なものになってしまう恐れがある。組織面を固めることに加えて、コンセプトを固めていくことが大切になってくる。

<事務局>

今回は、県の地方創生にかかる自治基盤整備助成金を得て行っている。またテーマについては、トモイクフェスティバルと同じように「共育」を掲げている。地方創生の助成を受けていることから、市外の方の来場を促すという視点を持ちつつ、引き続き市民との協働で実施する。

<委員長>

コンセプトはきちんと整理しないと曖昧な事業になってしまうのではないかと、という懸念がある。地域のブランド化や観光推進を目指すとなるとある程度の予算が必要だが、予算が少なければ少ないなりの手づくりのフェスティバルに割り切るか、あるいは予算をつけるか。ただ、2020年（東京オリンピック・パラリンピック）への対応等も考慮するならば、より明確に予算調達方法も踏まえて、今後について考える必要がある。

葉山芸術祭は、あまり予算をかけずにやっているようだ。

市内のいろいろなところでイベントが増えているというのは望ましい方向だと思う。

<事務局>

（資料2 文化振興のための環境づくり 個別シート、(仮称) 逗子アーカイブスの構築 個別シートについて説明）

<委員長>

意見、質問等はあるか。

<太下委員>

逗子は、写真の文化に、何かベースになるようなものはあるか。

<事務局>

あまり顕著なものはない。ただ「逗子フォト事業」については、これまで市が周年事業等の際に撮影、保管してきた写真について整理されていないので、将来的には市民が活用していくことを踏まえて。これを整理するという事業である。

<委員長>

逗子に縁のある写真家で、森山大道氏がいる。

逗子では早い時期から別荘文化があったので、写真館は他の地域より古くからあったと思う。

<太下委員>

普通の市民宅にも、写真が眠っているのではないかと。

<委員長>

今のうちにそういうものを集めていかないと散逸してしまう。古い写真の展示会のようなことはやっているのか。

<事務局>

60周年事業の時に行ったことがある。森山大道氏の写真展は、逗子アートフェスティバル2016で市民企画として行った。

<太下委員>

市民の皆さんの保有する写真等も含めてアーカイブス化してほしい。

<事務局>

はじめは市が保有する写真から始めるが、将来的には市民から提供された写真についても、

アーカイブス化したいという考えを、(逗子アーカイブスについて検討している) 逗子市文化振興基本計画策定・推進会議では持っている。

〈委員長〉

シティプロモーションは、フィルムコミッションと同じようなものか。

〈事務局〉

違うものである。

〈委員長〉

予算的にはそれほどかからない事業だと思うが、デジタル化などしてきちんと整理して行けば市民の活用に資するものがある。是非進めてほしい。

〈事務局〉

逗子市文化振興基本計画策定・推進会議の方でも活発に議論が進んでおり、そのなかで方向性を報告したものである。

〈事務局〉

(資料2 自然の回廊プロジェクト 評価シート、共育ネットワーク構築事業 評価シートについて説明)

〈委員長〉

意見、質問等はあるか。

旧野外活動センターの建物の有効活用については、使い方について市民サイドの意見がまとまらないようだが、今後の見通しはどうか。

〈事務局〉

所管課は企画課なので詳しいことは分からないが、市民の皆さんの意見をまとめた上で、活用については実施していくとのことである。

〈委員長〉

早急に行わないと、ますます老朽化が進むので、早く方向性が定まるとよい。

自然の回廊については、久木大池から鎌倉市境を経て熊野神社に至る道について、逗子と鎌倉の市境の道標が分かりにくい。

昔は、逗子海岸から小坪まで抜ける小道があったが、今は無いか。

〈事務局〉

引潮の時には通れるが、通常では通れない。浸食がすすみ崖沿いになっているようだ。

(2) 平成 29 年度事業について

〈委員長〉

それでは、議題 2 「平成 29 年度事業について」について、事務局から説明をお願いする。

〈事務局〉

(資料 3 の読み上げ)

〈委員長〉

意見、質問等はあるか。

(仮称) 逗子アーカイブスについては若干の予算が認められたということだが、アーカイブスの対象としては、写真だけでなく古文書もあり、既存の資料館が保管しているもののデータと合わせた体系化をしてほしい。収蔵場所について何か検討しているか。

〈事務局〉

その点は一番の問題になっている。そのこともあるので、まずは市が保有する写真から始めるということになっている。

〈委員長〉

今後学校の空き教室なども出てくるので、それも含めて場所の検討ができるのではないか。

〈事務局〉

保管するだけでなく、アーカイブスを作る作業の場についても必要である。

〈委員長〉

理想を言えば、学芸員をきちんと採用してほしい。

〈副委員長〉

クラウドファンディング型の資金調達というのは検討しているのか。

〈事務局〉

今後、発展的に行っていく場合は、資金調達が必要な場合はクラウドファンディングも検討する。

〈委員長〉

今後の進め方について、事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉

本会議で出た意見をまとめて、報告書素案を事務局で作成し、8月末までに送付する。

第2回会議は9月頃開催の予定である。

10月末までに教育長への報告の予定である。

(3) その他

〈委員長〉

本日の会議を通して、意見等あるか。

◇◇◇特になし◇◇◇

以上で「平成29年度 逗子市文化振興基本調査・評価委員会 第1回会議」を終了する。

3 閉 会

以上